

一小の校内研修(一人1授業)

音楽科の学習

令和2年12月3日(木) 第3校時 5年3組

<題材名> いろいろな音楽を感じ取ろう 「打楽器でリズムアンサンブル」

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

打楽器の音色や仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくることができる。

この学習は4時間予定で、本時は3時間目です。本時のねらいは次の通りです。

○音楽の仕組みをどのように用いるとよいか友だちと試行錯誤する活動を通して、自分たちのイメージするリズムアンサンブルをつくることができる。

活動1 前時の学習をふり返り、本時の学習の見通しをもつ。

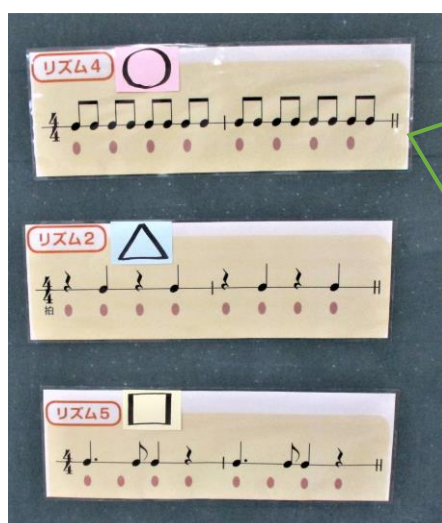
前の時間に、6種類のリズムパターン(黄色の用紙)を学習しています。

本時は、3種類のリズムパターンを、音楽の仕組みを使って組み合わせて曲を作り、グループで合奏する学習です。



音楽の仕組みは「くり返し」「呼びかけて応える」「増える」「減る」の4つから子供たちが選択します。

活動2 音の重なりや響きを試しながら、リズムアンサンブルをつくる。



使うリズムを
○△□と記号で
表します。

リズムをしっ
かり身に着ける
ためにくり返し
練習しました。



音楽の仕組みも記号にしてあり
ます。



楽器たたいて音を確かめながら、グル
ープでどんなリズムアンサンブルにする
か考えます。



このグループは、「終わりの部分」を賑
やかにするために、「中の部分」を少な
くしようと話し合っていました。



それぞれのグループが知恵を出
し合い、作った曲の練習に楽しそ
うに励んでいます。

音楽は「上手に演奏する」とい
った技能教科と思われがちです
が、子どもたちが「自分たちで考
え創造する教科」でもあります。